



山形県立酒田西高等学校
(通算第68号)
平成22年2月26日

卒業生への餞(はなむけ)

校長 小柳秀記

これまで自らが歩んできた歴史を積み重ねて、今のあなたがここにいるのです。思い出や記憶として残されたものが、仮にさほど多くはなかったとしても、あなた自身が今まで生きてきたことの証であり、かけがえのない時間の積み重ねなのです。学校や部活動そして多くの人との関わりのなかで、そのときは何も気づかずにいたけど、実に多くのことを学んだのだな、と思うことがあるはずです。後でふり返った時に、きっとそう思うはずです。成長するということは、その時はうまく言葉に表せなかった多くの経験に自らの言葉を与え、意味づけをしていくことです。ですから、今後あなたがどれだけ成長していけるかは、本校で過ごした日々や経験に対しても、どれだけ自らの言葉で意味づけをしていけるかにかかっている、とすることができます。本校で学んだこと、本校で過ごした日々、様々な思い出、そういったもののすべてが一人ひとりの成長の証として、また、将来への宝として、皆さんの心に刻まれることを願ってやみません。

いざ、出発のとき



3年次主任 庄司 豊

卒業という節目を迎えて、大きく一歩前へ踏み出す時が来ました。節目はまた人生の岐路にもなりますが、これまで自分が歩んで来た道を振り返るとともに、これから先の新しい環境・生活そして将来のことが気になる時です。過去と未来とどちらに比重がかかっているかと言えば、みなさんは圧倒的に後者が大きく心にのしかかっていることと思います。私自身の高校卒業時も、尊敬する担任の先生から指し示された、果てしなく広がる「知」の世界への魅力に心奪われて、これから先大学で学ぶことや人との新しい出会いなどを思っては心がむせ返るほどのパースペクティブの中にいたのを今でも覚えています。また、みなさんの新生活への不安と期待を天秤にかければ、即座に後者が地に着くことと思います。大人への成長過程にあるみなさんには、まだまだ未知数の部分があるわけですから、目が未来へ向かっているまさに今こそ大きく踏み出すべきです。それぞれが選んだ進路に向かって遠慮無く突き進んでください。そんなみなさんへ「行っておいで」とエールを送り続けていますからね。

芸術コース〈美術選択生〉+素描選択生 第1回修了作品展を開催！

3年前に発足した芸術コースの美術選択生と専門科目「素描」選択の3年生計11名による第1回修了作品展が、酒田市中町の「ギャラリー《街中キャンパス》」において、1/26～3/1の1週間にわたり開催されました。作品は全て授業の中で取り組んできたもので、各種デッサンをはじめ、平面構成や立体構成作品。総合表現としての心象絵画(立体)。2年次のビジュアルデザインで学んだイラストレーション等計84点。作品展示作業や、2日間にわたる生徒だけの受付活動等全て手作りの作品展でしたが、鑑賞していただいた方々から、「作風が明るくて好感が持てる」や「若者(高校生)の発想力の豊かさには感心した」。はたまた「デッサン力が甘い」や「独創性が乏しい」等予想以上にたくさんの貴重な感想をいただくことができ、充実した作品展となりました。

出展した3年生の皆さん、今回の貴重な体験を卒業後のそれぞれの生き方に是非生かしてってください。最後に、お忙しいなか会場までいらしていただいたたくさんの方々に心からお礼申し上げます。有り難うございました。

小松先生、お疲れ様でした！

今年度で退職される
小松宜子先生より



「光陰矢のごとし」とはよく言ったもので、今年退職を迎えることになりました。しかし、私にとっては1年1年が1つの区切りでした。この6年間はずっと3年生を中心に教えてきたので特にその感が強いように思われます。

「教育はやり直しがきかない。」とはよく言われる言葉です。特に高校は未来への門を開ける時期だけに重要な時期です。卒業生を出すということはそれだけ大変な仕事なのだと教員生活を何年重ねても実感できます。私の場合は足りないところは生徒や周りの人々に助けてもらい、有意義に楽しく酒田西高での16年を送ることができました。

旧校舎から新校舎への移転、湯の浜強歩、西高祭、初めての運動会などすべてを経験することができたのは大変幸福なことでした。また、生徒に恵まれ、スピーチコンテストや、海外研修の指導も経験できたことも良い思い出です。

16年間を振り返ってみると酒田西高は生徒を中心として、周りの人々が暖かく支え、一体となって作ってきた学校だとつくづく思います。卒業生がはるかに成長して学校を訪れるとき、教員をしていて本当に良かったと実感します。

西高の皆さん、皆さんにはすばらしい未来が開けています。何があってもひるまず恐れず、正面から試練にぶつかってください。試練を乗り越え、最後に美しい花を咲かせてください。





卒業生より



弘前大学 教育学部 生涯教育課程 地域生活専攻 合格

推薦入試は秋頃に行われるので、周りがセンターに向けて勉強している中、自分は小論文と面接の練習に励まなければなりませんでした。周りから遅れている、と不安な気持ちになることが多かったです。

試験では、面接で志望理由や大学で学びたいことなど詳しく聞かれます。自分がこの大学で何をしたいかや、将来に向けての考えをしっかりと持っておいたほうが良いです。

推薦入試は、合格できなかったときのリスクが高いし、つらいことも多いです。でも、家族や先生方の支えがあったり、友達同士で励ましあったりして頑張れると思います。自分の目標を明確に持ち、達成できるように頑張ってください。

山形県立保健医療大学 保健医療学部 作業療法学科 合格

私が推薦に決めたのは、約2ヶ月前からで、志望校を受験するチャンスを一回でも増やしたいと思ったからです。面接や小論文の他に合格できなかったときに備える必要があるので、プレッシャーや不安がたくさんありました。「ここに入りたい」という強い気持ちはもちろんのこと、家族・先生方・友人の応援や励ましがとても大きかったから、私は最後まで頑張ることができたと思います。今回受験するうえで心がけたことは、ニュースや新聞に目を通し、知るだけでなく自分なりに考えて書き留めることです。興味があることを積極的に調べるようにしましょう。そうすれば、やりたい事や今やるべきことが明確になると思います。また、先生の助言や進路講話をしっかりと聴きましょう。辛いときは周りと励ましあえばきっと大丈夫です。夢を大切にし、自分を信じて頑張ってください！

東北芸術工科大学 芸術学部 美術科 工芸コース 合格

私がこの大学に入りたいと思った一番のきっかけは、何といても大学の雰囲気や直接感じたことです。2年の夏に初めて行ってから、卒展や講習会、オープンキャンパスに積極的に参加することで、大学の雰囲気も掴めたし、行く度に「この大学に入りたい！」と思う気持ちも強くなりました。パンフレットだけではわからないことも沢山あると思うので、オープンキャンパスには積極的に参加したほうが良いと思います。私はこの大学で勉強したいという気持ちをアピールしたくてAO入試を受けたのですが、早いうちから美術の先生に相談していたので、書類や持っていく作品は、すぐに対策ができました。周りの人々が受験モードではない中、一人で焦って辛いこともありましたが、周りのみんなの支えもあって、乗り切ることができました。自分を信じて頑張ってください。

仙台国税局 内定

私は高校2年生の半ば頃から公務員の勉強を始めました。公務員試験は範囲が広く、また学校ではやらないような問題も出題されます。ですから先生方が紹介してくださったセミナーなどに参加し、勉強していきました。セミナーは同じ内容のものが何回も開催されるわけではないので、早いうちから受講したほうが良いと思います。

公務員試験に私が合格できたのは、先生方や同じ公務員を目指す仲間やセミナーを開催してくださった専門学校の講師の方々、両親など多くの人に支えられたからだだと思います。感謝してもしきれないほどです。

これからは支えてくださった方の期待に添えるように、教わったことを生かして精一杯頑張りたいです。最後に支えてくださった方々、本当にありがとうございました。

ホテルリッチ&ガーデン 内定

私が本格的に就職活動を始めたのは3年生の夏の終わりだったので、かなり遅いスタートでした。そのため準備の時間が短く、先生方に迷惑をかけてしまいました。

それでも先生方やPTAの方々丁寧な指導してくださったので、毎日の面接練習や作文練習、筆記試験の勉強などを頑張ることができました。また、同じく就職を目指す仲間の存在も大きな力になりました。たくさんの方に応援していただいたおかげで、地元で働けることになりました。上手いかわないことはたくさんありましたが、今思えば全てが貴重な体験です。就職活動で得たもの、学校生活の中で得たものを、仕事にしっかりと活かしたいです。

最後に、支えて下さった皆様、本当にありがとうございました。

この一年、いろんなことがありました✿



本校のホームページアドレス www.sakatanishi-h.ed.jp